

## 2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社かんな丸 上場取引所 東  
 コード番号 7585 URL http://www.kannanmaru.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 榮治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 宮永 一彦 TEL 048-815-6699  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	671	△69.5	△620	—	△612	—	△570	—
2020年6月期第3四半期	2,198	△19.2	△220	—	△209	—	△241	—

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 △571百万円 (—%) 2020年6月期第3四半期 △246百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	△149.56	—
2020年6月期第3四半期	△63.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	1,933	1,112	57.5
2020年6月期	2,207	1,703	77.1

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 1,112百万円 2020年6月期 1,703百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年6月期	—	0.00	—		
2021年6月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年6月期の期末配当は無配とさせていただきます。つきましては、2021年5月14日に開示しました「剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

現時点において、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であり、事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積もることが困難であることから、未定としております。なお、今後合理的に見積もることが可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年6月期3Q	4,351,308株	2020年6月期	4,351,308株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	539,745株	2020年6月期	539,745株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年6月期3Q	3,811,563株	2020年6月期3Q	3,811,596株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における外食業界は、前期からの新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響による、休業や営業時間の短縮によって来店客数が激減し、極めて厳しい経営環境が継続しております。

当社が主力として運営しております居酒屋業態においても、コロナ禍における勤務スタイルの変化や外出・会食の自粛によって宴会需要の著しい減少に伴い、売上高回復は非常に厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは2021年1月14日に「店舗閉店および希望退職者の募集に関するお知らせ」のとおり、順次27店舗の閉店をいたしました。また、事業規模の縮小に合わせて希望退職を募り、規模にあった人人体制にするべく苦渋の決断、実行をいたしました。一方で研修による店舗オペレーションの再確認と配置スタッフの見直しを通じて、既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す経営方針に基づき、「わざわざご来店いただいたお客様」にご恩返しするため、お客様へのきめ細かい施策を実施するために、社内外の研修を強化してまいりました。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」27店舗、「日本海庄や」15店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」2店舗、カラオケルーム「うたうんだ村」3店舗、大衆すし酒場「じんべえ太郎」2店舗の合計49店舗となっております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高671,236千円（前年同四半期比69.5%減）、売上総利益は459,846千円（前年同四半期比70.5%減）、販売費及び一般管理費については1,080,685千円（前年同四半期比39.3%減）となり、営業損失は620,838千円（前年同期は営業損失220,497千円）となりました。経常損失につきましては612,080千円（前年同期は経常損失209,822千円）となりました。税金等調整前四半期純損失は565,566千円（前年同期は税金等調整前四半期純損失240,044千円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は570,060千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失241,570千円）となりました。

なお、当社グループは、料理飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は880,530千円となり、前連結会計年度末に比べて195,713千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が194,409千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は1,052,900千円となり、前連結会計年度末に比べて78,779千円の減少となりました。これは主に、減価償却費35,679千円、差入保証金の減少18,297千円を計上したことによるものであります。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は395,884千円となり、前連結会計年度末に比べて154,135千円の増加となりました。これは主に、閉店店舗の解体費用等の支払い等により資産除去債務の増加116,908千円によるものであります。

また、固定負債は425,246千円となり、前連結会計年度末に比べて162,094千円の増加となりました。これは主に、長期借入金の増加280,973千円及び資産除去債務（長期）が103,364千円減少したことによるものであります。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,112,299千円となり、前連結会計年度末に比べて590,723千円の減少となりました。これは、配当金支払による減少及び四半期純損失の計上の結果、利益剰余金が589,118千円減少したことによるものであります。

（3）継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症変異種の感染者数の増加やコロナワクチンの接種状況等を勘案すると当該感染症の収束方向性が確認されるまでは、政府および自治体による休業要請、営業時間の短縮要請、酒類提供の自粛、小人数による会食など飲食業への協力要請は継続されるものと思われま。こうしたことから、連結営業損失及び連結営業キャッシュ・フローの改善には、一定の時間を要すると懸念されることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

このような状況を解消するために、当社グループは、資金繰り安定化と事業の収益改善及び本社ならびに店舗運営コストの抜本的改善を目的とした事業再構築の二本柱を改善策として実施しております。

一つめは、当面の資金繰り安定化のため、政府系金融機関並びに民間金融機関からそれぞれ「新型コロナウイルス感染症特別貸付（3年間実質無利息・無担保）」並びに「埼玉県新型コロナウイルス感染症対応資金（3年間無利息・無担保）」等の長期低利融資を活用し、運転資金の維持確保のためキャッシュ水準の積み増しに努めております。

二つめには、事業の収益改善及び本社ならびに店舗運営コストの抜本的改善を目的とした事業再構築を実施しております。具体的には、2021年1月14日に「店舗閉店および希望退職者の募集に関するお知らせ」のとおり、閉店を実施し、事業規模の縮小に合わせた人員体制にまいりました。当社グループの主たる事業である外食事業について、感染症対策の徹底を前提とし、既存店の売上対策を強化するとともに、従業員の適正配置による人件費の効率化や出店先店舗のオーナー様に対する地代家賃の引き下げのお願い等により店舗運営コストを削減することに加え、本社費用についても目標金額を定めて経費削減を検討・実行しております。これらの対応策によりグループ全体として売上高の回復とともにコストダウンを図り、営業損益の改善を行ってまいります。

当社グループは、当第3四半期連結会計期間末現在で、現預金残高785,875千円、純資産残高1,112,299千円を有しており、現時点では安定的な財政状態を維持しております。そのため、これを基盤として上記対応策を進めていくことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であり、再度の緊急事態宣言およびその後のまん延防止等重点措置の発令により全店舗臨時休業を実施しており、事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積もることが困難であることから、前回発表（2020年8月14日）に引き続き、未定としております。なお、今後合理的に見積もることが可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	980,284	785,875
売掛金	16,014	8,519
原材料	17,999	12,806
前払費用	45,564	38,671
その他	16,378	34,657
流動資産合計	1,076,243	880,530
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	282,634	247,594
土地	213,034	213,034
その他（純額）	53,010	35,727
有形固定資産合計	548,679	496,356
無形固定資産	13,668	13,479
投資その他の資産		
差入保証金	496,334	478,037
その他	79,683	71,045
貸倒引当金	△6,686	△6,018
投資その他の資産合計	569,331	543,063
固定資産合計	1,131,679	1,052,900
資産合計	2,207,923	1,933,430
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,100	9,356
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	17,918	35,002
未払法人税等	10,004	5,548
店舗閉鎖損失引当金	4,927	57,985
資産除去債務	8,349	125,258
その他	164,446	152,734
流動負債合計	241,749	395,884
固定負債		
長期借入金	31,524	312,497
資産除去債務	194,920	91,555
その他	36,706	21,193
固定負債合計	263,151	425,246
負債合計	504,900	821,131

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	275,100	50,000
資本剰余金	88,500	313,600
利益剰余金	1,955,320	1,366,201
自己株式	△622,114	△622,114
株主資本合計	1,696,806	1,107,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,216	4,611
その他の包括利益累計額合計	6,216	4,611
純資産合計	1,703,022	1,112,299
負債純資産合計	2,207,923	1,933,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,198,054	671,236
売上原価	637,639	211,389
売上総利益	1,560,415	459,846
販売費及び一般管理費	1,780,912	1,080,685
営業損失(△)	△220,497	△620,838
営業外収益		
受取利息	146	82
受取配当金	402	4,539
受取家賃	224	—
受取保険金	2,375	—
保険解約返戻金	4,736	1,535
協賛金収入	—	600
貸倒引当金戻入額	1,127	667
その他	1,882	2,150
営業外収益合計	10,895	9,575
営業外費用		
支払利息	195	744
その他	25	72
営業外費用合計	220	817
経常損失(△)	△209,822	△612,080
特別利益		
固定資産売却益	119	—
保険差益	—	315,386
補助金収入	—	83,361
特別利益合計	119	398,748
特別損失		
特別退職金	—	39,329
減損損失	27,922	31,277
店舗閉鎖損失	2,419	61,163
新型コロナウイルス感染症による損失	—	220,464
特別損失合計	30,341	352,234
税金等調整前四半期純損失(△)	△240,044	△565,566
法人税、住民税及び事業税	4,962	6,425
法人税等調整額	△3,436	△1,930
法人税等合計	1,526	4,494
四半期純損失(△)	△241,570	△570,060
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△241,570	△570,060



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2021年3月31日）
四半期純損失（△）	△241,570	△570,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,027	△1,604
その他の包括利益合計	△5,027	△1,604
四半期包括利益	△246,597	△571,665
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△246,597	△571,665
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2020年9月24日開催の第43回定時株主総会決議に基づき無償減資を行い、2020年11月1日を効力発生日として資本金225,100千円を減少させ、その他資本剰余金に振替えております。

これにより、2021年6月期第3四半期連結会計期間末において資本金50,000千円、資本剰余金313,600千円となっております。なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、料理飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響

当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うまん延防止等重点措置の発令に伴い、2021年4月28日より埼玉県内、千葉県内の全店舗の臨時休業をすることいたしました。さらに、まん延防止等重点措置の延長により、当面の間として全店舗の臨時休業延長を実施しております。これにより当社グループの業績に対する影響が見込まれるものの、現時点において合理的に見積もることは困難であります。